

400年ごろ 安政東海と同型地震

静岡大の北村晃寿教授ら研究グループは16日、静岡市清水区でボーリング掘削による堆積物の分析と年代測定などを行った結果、1854年の安政東海地震と同タイプの大地震が周辺で西暦400年ごろに発生したことを示す地質的な証拠を発見したと発表した。調査は沿岸低地に位置し、1011年時点で現

静大・北村教授や磐田南高生

「地質的な証拠発見」

在地にあることが分かっている海長寺で実施。その結果、「水深80メートルより深い場所」から「標高80メートル高い海浜」に急変した層境界の年代は西暦400年前後と判明。同時代には世界的な海水準変動が起きていないことなどから、地層の変化は安政東海地震と同様の「駿河トラフで起きた大地震による隆起」と解釈できる

地震において、破壊の東端が駿河トラフまで及んだかどうかは極めて重要な研究テーマ。北村教授は従来の知見や今回の研究成果を総合的に踏まえ、「最古の歴史地震である684年の白鳳地震より一つ前の大地震の震源域が駿河トラフまで及んだ可能性がある」と指摘。「将来発生が懸念される南海トラフ巨大地震の対策に重要な資料になる」と話した。研究には県立磐田南高地学部のある3年生も参加し、県庁での記者会見に同席した。

2019年8月17日朝刊

① 安政東海地震が静岡県に与えた影響について調べよ。

② 「歴史地震」の資料を読み解くことによる、地震予知の在り方を考察せよ。

③ 南海トラフ巨大地震が発生した際、高校生が地域に貢献できる内容を考察せよ。

年 組 名前

作問者：NIEアドバイザー 実石 克巳（静岡県立静岡高校 教諭）

（高校／国語）

<参考>①＝地震考古学・古文書学に関する問題、②＝地質学・地震学に関する問題、③＝地域行政学に関する問題